

PSD 協会

令和 7 年 10 月 24 日 zoom 会議事録

書記 松江 光弘

日時 2025 年 10 月 24 日（金） 19 時～20 時 30 分

会場 ZOOM 開催

出席者 川島 哲会長、片岡 均副会長、斉藤 篤史専務理事、佐藤 洋久常務理事
石本 忍理事、清水 一弘理事、仲井 信二理事、北浦 純理事、伊藤 貴也理事
南木 康広氏、松江 光弘理事

懇親会の運営

- 会場と形式
 - 会場は会議室棟の 5 階で、立食ではなく円卓を設置した着席形式で行われます。
 - ケータリングは産経新聞関連の「サンケイ」が担当します。
- 食事と飲み物
 - 料理は洋食、中華、和食、デザートを含む大皿ビュッフェ形式で提供されます。
 - 追加メニューとして、寿司（一桶 40 貫を 2 つ）、蕎麦、サンドイッチが用意されます。
 - 飲み物は 2 時間の飲み放題で、ビール、ウイスキー、焼酎、ソフトドリンクなどが含まれます。
- 予算
 - ケータリング関連の費用は、運送費、スタッフ派遣料、テーブル装花を含め、総額で 335,379 円の見積もりです。
- 運営方針と余興
 - 参加者が自由に交流できるよう、テクニカルコンテストの表彰式中も食事や歓談を続けながら自由に動いて良い形式とします。
 - 司会者は会の冒頭で、参加者が気楽に過ごせるようアナウンスします。
 - 1 位受賞者には、簡単なコメントを依頼する案が検討されています。
- 席順
 - 基本的に自由席とし、厳密な席次や名札は用意しません。
 - 歓談を楽しむ形式といたします。
 - 来賓席のみ会場前方の中央に設けます。来賓は 4 名で、胸花などの用意もありません。

- 司会体制
 - 主担当を荒川さん、サポート役を片岡さんと会長が務め、状況に応じて対応します。

イベントのスケジュール

- 来賓挨拶
 - 来賓は4名で、各5分の挨拶を想定しており、合計で約20分を見込んでいます。
- コンテスト表彰式
 - 受賞者7名への賞金とクリスタルの盾の授与、中野副会長による総評などを考慮し、時間を当初の30分から50分に延長します。
- 講演会終了後から懇親会まで
 - 17:00 に講演会が終了します。
 - 17:00 から 17:40 まで、参加者は講演会場（4 階）でメーカー展示を見学します。
 - 17:40 に講演会場を施設し、参加者は5 階の懇親会場へ移動を開始します。
 - 18:00 から懇親会を開始します。
- 1 日目（11 月 2 日）の設営
 - 役員は 11 時に集合し、メーカー8 社分の展示用机や椅子のセッティングを行います。
 - 設営日の昼食は会からの提供はなく、役員は各自で持参することとします。
- その他のイベント
 - 伊藤氏によるワックスアップのデモが、2 日目の昼に 20 分程度行われる予定です。

記念スライドショー

- 制作は松江が担当し、南木さんと連携して進めます。
- 視聴者が飽きないよう、長さは10～15分程度とし、BGM 付きの映像を流し、解説はその場で口頭で補足する形式が提案されました。

役割分担と受付業務

- 総合司会
 - 片岡氏が2 日間の学術大会全体の司会進行を担当します。

- 受付
 - 伊藤氏と事務局の鈴木氏の 2 名で担当します。
 - 20 周年時の反省から、受付での混乱を避けるため、参加者名簿には最終締切日を明記し、「あいうえお順」で作成します。
- 撮影記録
 - スチール撮影: 専門のカメラマン 2 名（尾立氏、渡辺氏）が手配済みです。
 - 動画撮影: 南木氏に協力が依頼されました。
- コンテスト入賞者の撮影
 - コンテスト終了後、入賞者の記念撮影を南木氏に依頼することが確認されました。撮影費用は別途協議します。

コンテストと展示品の管理

- 展示方法
 - 講演会場の最前列、壁際に展示スペースを設け、管理のしやすさと盗難防止を優先します。
 - 全 30 作品ではなく、選ばれた作品（会員 3 ケース、一般 3 ケース、合計 6 ケース）と特別展示を予定しています。
 - コバルト床に加えてゴールド床も展示され、展示品の価値は合計で約 200 万円になる見込みです。展示数は 5 つ程度の予定です。
- 展示品管理担当
 - 高価な展示品の紛失防止のため、管理担当者を配置します。
 - 11 月 2 日（1 日目）: 中野氏、北浦氏、佐藤博久氏、斎藤氏
 - 11 月 3 日（2 日目）: 松江氏、黒松氏、清水氏、葉山氏
- セキュリティと施錠手順
 - 講演会終了後の無人になる時間帯の盗難リスクが懸念されています。
 - 事務局の鈴木氏が最終責任者として、参加者とメーカーが全員退室したことを確認後、会場を施錠します。
 - 斎藤先生、北浦さん、佐藤さんの 3 名が、鈴木さんと共に最後まで会場に残り、施錠まで対応します。
 - 鍵は鈴木さんが預かり、施錠後は 1 階の管理事務所に返却します。

会長のビジョンとその他

- 30 周年に向けた会長のビジョン
 - 会長は、30 周年を会員の質を高め、結束を深める機会としたい考えを示しました。
 - 規模の大きさよりも、質の高い、楽しく面白い会を目指し、次世代へのバトンタッチを行う転換点としたいと述べました。
- その他の確認事項
 - 抄録の提出状況: 締切日を過ぎた未提出者 3 名に催促を行います。
 - 祝花: 届いた場合は会場外のスペースに飾る場所が確保されています。

未解決事項とリスク

- 過去の経験から、受付で参加者名簿にない来場者（締切後の申込者や来賓の同伴者など）への対応に混乱が生じるリスクがある。
- 来賓の挨拶やスライドショーが想定より長引いた場合、2 時間の懇親会の時間配分がタイトになる可能性がある。
- コンテスト展示品には数十万円相当のゴールド作品が含まれており、紛失や盗難のリスクが最大の懸念事項として挙げられている。